

## 神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会選手選考基準について

選考基準内VI その他-8.に基づき、本内容をホームページにて公表いたします。

2023年11月13日

- ◆主訴：身体障害クラスと同様、記録上位3位以内を選考しない理由は何でしょうか。  
知的障害クラスだけ選考競技会を実施する合理的理由は何でしょうか。

2023年11月17日

### 【回答】

知的障害クラス（T20）1500mでは、東京2020パラリンピック、パリ2023世界選手権時においてWPAランキングが上位であったにも関わらず、それぞれメダル獲得、4位内の枠獲得ができませんでした。特に世界選手権では3名派遣にも関わらず入賞が8位1名という非常に厳しい結果となりました。

この結果は、「パリパラリンピックでのメダル獲得」という目標と照らし合わせると、大きく対策が必要と考えられます。多数の選手が同時スタートのレースである1500mの特性を考慮すると、日本の知的障害選手が駆け引きなどレース戦略に馴れていないことや、平均ペースで走り切る能力以上にスプリント能力の向上が課題として挙げられます。ここは記録競技である他のトラック&フィールド競技とは異なる点です。ちなみに他の立位の1500m、5000mや車いす種目については選手数や国際レベルとの比較から、T20クラスの1500mと大きく異なると考えております。

また、現時点でT20クラスの1500mは枠を確保できていないこと、ハイパフォーマンスランキングでも決して上位ではないことから、まずは枠獲得が最優先であると考えられます。

以上より、パリパラリンピックに向け、神戸2024世界選手権では枠獲得となる2位以内が目標であり、さらにレースでの勝負が重要となることから、神戸2024パラ陸上競技世界選手権T/F20クラスの選考は、記録重視ではなく勝負重視の選考としました。なお、現時点で対象選手が3名以上であるのは1500mのみです。

選考競技会がシーズン初期に行われることに関しては、神戸パラ世界選手権が5月の開催である状況を踏まえ、本日程での競技会開催を設定したこと、ご理解ください。

以上